



2023年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社ギフトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 042-860-7182)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年12月15日に公表いたしました2023年10月期の連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年10月期の連結業績予想値と実績値との差異(2022年11月1日～2023年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,500	百万円 2,050	百万円 2,080	百万円 1,380	円 69.26
実績値 (B)	22,982	2,352	2,424	1,597	80.11
増減額 (B-A)	2,482	302	344	217	
増減率 (%)	12.1	14.8	16.6	15.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年10月期)	17,015	1,571	2,442	1,538	77.23

(※) 当社は、2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

直営店、プロデュース店ともに積極的な出店を続け、直営店事業で26店舗の純増、プロデュース事業で37店舗の純増を図りました。また、原油価格の高騰、仕入食材の値上げ等により提供する商品価格を見直さざるを得ない状況となり価格転嫁を行いました。当該価格転嫁による影響は、現在の積極的な新規出店状況においてもコロナ禍前の2019年対比で既存店の来店客数が増加するという好結果を生み出すこととなりました。このことから、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、それぞれ前回公表値を上回る結果となりました。

以 上